Konica

Z-up110 Super

ご使用前に必ず、
お読みください。

使用説明書

各部の名称

撮影表示パネル／
フィルムカウンター
ズームスイッチ
パワースイッチ
シャッターボタン
ストラップ取付部
セルフタイマーランプ／赤目軽減ランプ
モード切替えスイッチ
セルフタイマースイッチ
途中巻き戻しスイッチ
ファインダー窓
フラッシュ
オートフォーカス窓
レンズ／レンズカバー
測光窓
Konica

ファインダー接眼窓

緑ランプ

赤ランプ

裏ぶた開放ノブ

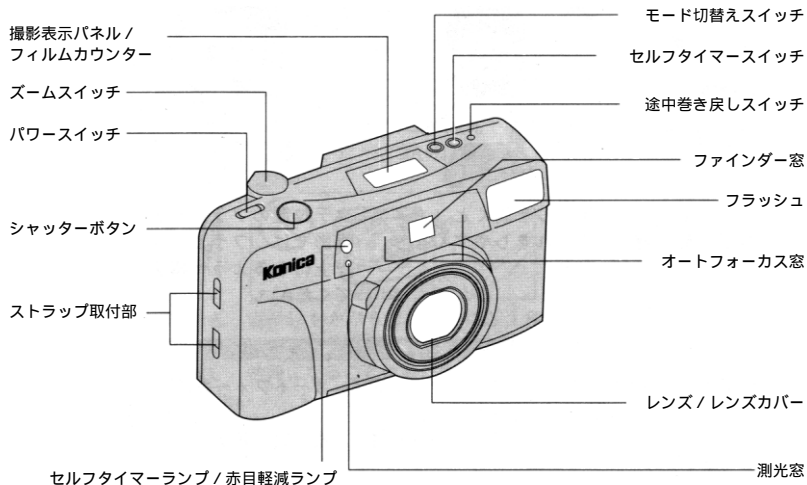
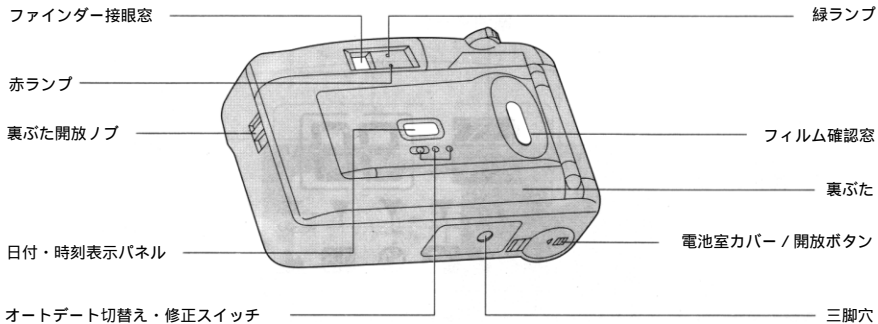
フィルム確認窓

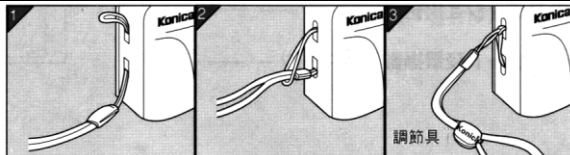
裏ぶた

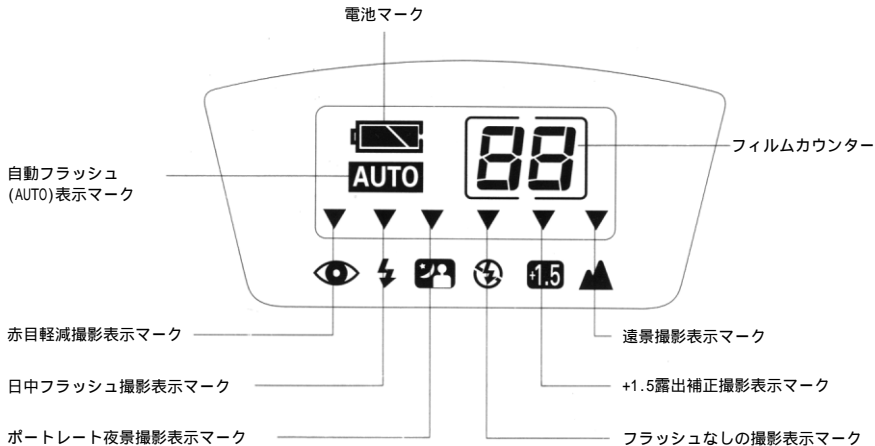
電池室カバー／開放ボタン

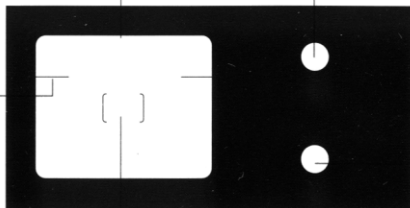
日付・時刻表示パネル

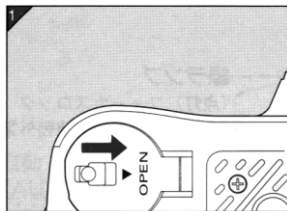
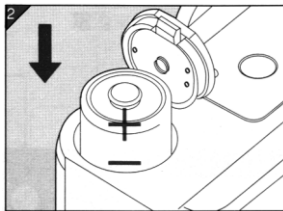
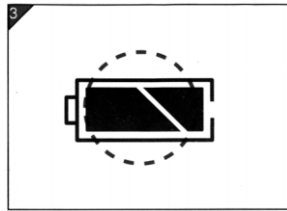
オートデート切替え・修正スイッチ

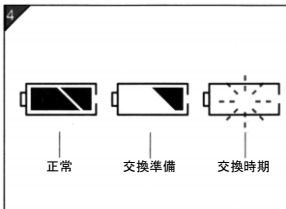
三脚穴

ストラップの取付け方

＊ 調節具の突起部はSETスイッチまたは途中巻き戻しスイッチを押すときに使用してください。

撮影表示パネル

＊図は全ての液晶を点灯状態で示してあります。

ファインダーと表示ランプ

このフレーム内の被写体に
ピントが合います。

1．電池の入れ方

＊電池を入れた時、交換をした時はオートデートの修正をしてください。

ストラップ調節具の突起部で電池室カバーの開放ボタンを矢印方向に押すと、電池室カバーが開きます。

電池の＋、－を電池室内側の表示に合わせて入れ、カチッと音がするまで電池室カバーを閉じます。

電源ONにしたとき、撮影表示パネルの電池マークが黒く点灯していれば、電池容量はOKです。

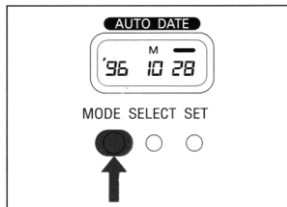
⚠警告	爆発して大けがの危険があります。電池を火の中に入れたり、ショート、分解、加熱、充電をしないでください。
⚠注意	発熱発火の危険があります。指定外の電池を使用しないでください。

使用する電池はリチウム電池(CR123Aまたは、DL123A：3V)１本です。

* 撮影の途中で電池マークが2/3白くなったら、最後まで撮影し、巻き戻した後、電池を交換してください。
* 長期間の旅行などには、予備の電池を用意しておくことをおすすめします。
* 連続してフラッシュ撮影をすると電池容量が少ない表示になることがありますが、しばらく待ってから再度パワースイッチを押して電源ONにしたとき、電池の容量が十分な表示になればそのまま撮影できます。
* 寒冷地では電池の性能が低下しますのでカメラを保温しながらご使用ください。まれに電池の容量が十分でも電池の容量がない表示になることがあります。このときは再度シャッターボタンを押してください。

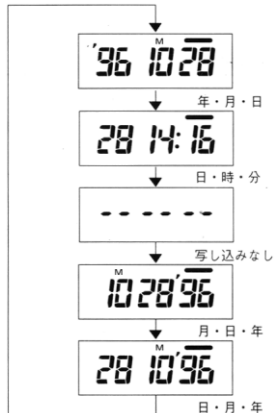
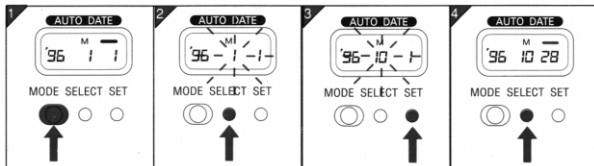
電池交換をするときのご注意

1) 電池交換をするときは必ず電源をOFFにしてから行ってください。
2) フィルムが入っているときは電池を手ばやく(２分以内)入れ替えてください。
3) 電池を交換して、電池室カバーを閉じるかシャッターボタンを押したときに、フィルムカウンターが 1 になる場合かありますが撮影は続けられます。
4) フィルムの終わり近くで電池を交換すると、フィルムカウンターが 0 のまま点滅することがあります。このときは途中巻き戻しをしてください。

2．オートデート　日付・時刻を合わせてください。

2019年までの日付・時刻を記憶し、画面に写し込むことができます。

オートデート切替え・修正スイッチのMODEスイッチを押して、年月日、日時分、写し込みなしなどを選びます。

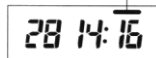
＊ スイッチの操作は、ストラップの調節具の突起部で押してください。

写し込みの位置が明るい場合や白い場合は、デート文字がはっきり出ないことがありますので、ご注意ください。

日付・時刻の修正

1. MODEスイッチを押して年月日を表示させます。
2. SELECTスイッチを押して修正する数字を点滅させます。
3. 数字を点滅させたまま、SETスイッチを押し、修正します。

＊ SETスイッチは合わせたい数字が出るまで数回押してください。

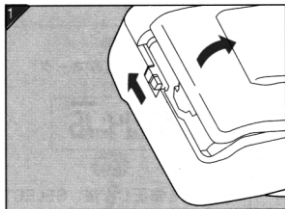
＊ 2 3 の操作を繰り返し・年月日を修正してください。

4. 修正がすべて終わったら、再度SELECTスイッチを押してください。数字の点滅が点灯となり、━の写し込みマークが現れて写し込み可能の状態になります。

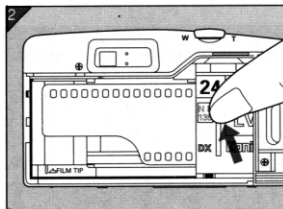
＊ 時刻の修正は、MODEスイッチを押して、日時分の表示にしてから 2 3 の操作を繰り返します。

＊ 分を修正した後、SELECTスイッチを押すと：が点滅します。
もう一度SELECTスイッチを押して写し込み可能の状態にしてください。

＊ 秒まで合わせるには、:の点滅時に時報に合わせてSETスイッチを押し、さらにSELECTスイッチを押して、写し込み可能の状態にしてください。

3．フィルムの入れ方

＊DXコードの付いた35㎜フィルムを
ご使用ください。

裏ぶた開放ノブを矢印(▲)の方向へ押し上げて、裏ぶたを開けます。

＊ カメラ内部のレンズに触れないようにご注意ください。

＊ フィルム確認窓を見ると、フィルムが入っているかどうかがわかります。

パトローネ(フィルムの容器)をカチッと音がするまで押し入れ、フィルムが平らに出るようにします。

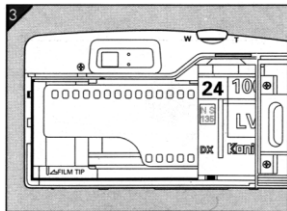
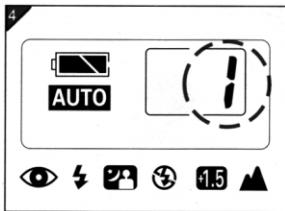
＊ フィルムを入れると、使用フィルムの感度(ISO25〜3200)が、自動的にセットされます。

＊ DXコードのないフィルムのDX導入感度は、すべてISO25にセットされます。

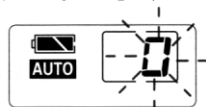
＊ リバーサルカラーフィルム(スライド用)は、下表のDX導入感度と同一感度のフィルムをご使用ください。

＊ コニカカラーフィルムのご使用をおすすめします。

使用フィルム感度のDX導入感度

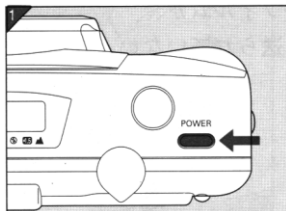
ＤＸ導入感度	25	50	100	200	400	800	1600	3200
使用フィルム感度（ISO）	25	50	100	200	400	800	1600	3200
	32	64	125	250	500	1000	2000	——
	40	80	160	320	640	1250	2500	——

フィルムを少し引きだし、先端をカメラ内部の先端マーク（▙FILM TIP）に合わせてください。

裏ぶたを閉じるとフィルムは１枚目の撮影位置まで自動的に送られます。

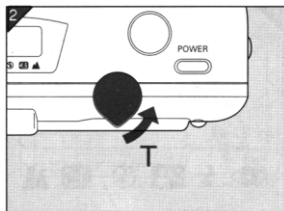
＊ DX導入感度がISO25にセットされるフィルムは電源ONにしてから、さらにシャッターボタンを押してください。

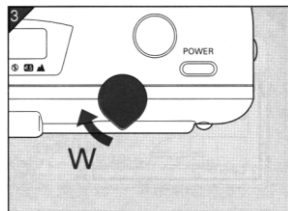
フィルムが、
送られていないときは、

フィルムカウンターが０のまま約５秒間点滅した後、液晶表示が全て消灯します。

裏ぶたを開けて、フィルムを入れ直してください。

4．撮影方法（一般撮影）

＊すべての撮影に共通する基本的な撮影の手順です。

パワースイッチを押してください。レンズカバーが開き、レンズが撮影位置(38㎜広角)まで繰り出され、電源ONになります。このとき撮影表示パネルの液晶が表示されます。

＊ 前面のレンズが汚れていたら柔らかい布で軽く拭きとってください。

ファインダー接眼窓をのぞきながらズームスイッチをＴ側に押すと、画面が望遠側に移動します。希望の構図になったとき、指を離して止めてください。

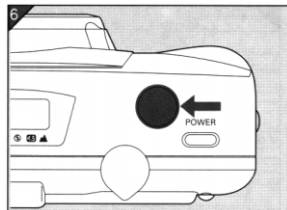
＊ レンズは望遠110㎜まで移動します。

ズームスイッチをW側に押すと、画面が広角側に移動します。希望の構図になったとき、指を離して止めてください。

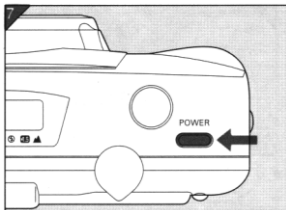
＊ レンズは広角38㎜まで移動します。

＊ 被写体を大きくしすぎた場合、画面を広角側に戻すなど、構図の調整が迅速にできます。

ピントを合わせたい被写体に、オートフオーカスフレームを合わせます。

シャッターボタンを半押しすると緑ランプが点灯し、自動的にピントが合います。

* シャッターボタン半押しで緑ランプが点滅したときは、被写体が近すぎてピントが合わない警告でシャッターがきれません。

シャッターボタンをさらに深く静かに押し込み、シャッターをきってください。

* 撮影が終るとフィルムが１コマ自動的に送られ、フィルムカウンターの数字が１つ進みます。

撮影が終わったらパワースイッチを押してください。電源がOFFとなり、レンズが収納されます。

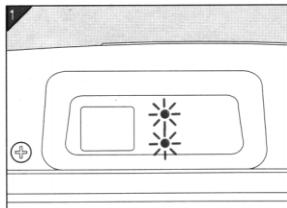
＊ 電源ONのまま約３分間操作をしないと、自動的にパワーOFFとなり、レンズが広角側(38㎜)に戻り、撮影表示パネルの液晶が消灯します。

＊ 続けて撮影をしないときは、パワースイッチを押してレンズを収納してください。

日中撮影の距離

焦点距離	撮影距離
38mm〜110mm	0.8m 〜∞

5．自動フラッシュ撮影

＊暗いときフラッシュが自動的に発光します。

シャッターボタンを半押しして、緑ランプと共に赤ランプが点灯したら、フラッシュが自動的に発光する表示です。

シャッターボタンをさらに深く静かに押し込み、フラッシュ撮影をしてください。

- ＊ このときのシャッター速度は、広角側で最長1/30秒まで、望遠側で最長1/60秒までとなるのでカメラぶれにご注意ください。
- ＊ フラッシュ撮影後の赤ランプ点灯は、フラッシュの充電中ですからシャッターはきれません。
- ＊ 人物のフラッシュ撮影をするときは、赤目現象を軽減するために赤目軽減撮影をおすすめします。

フラッシュ撮影の距離（ネガカラーフィルム使用の場合）

焦点距離	フィルム感度	撮影距離
38mm	ISO 100	0.8m～　5.3m
	ISO 400	0.8m～ 10.6m
110mm	ISO 100	0.8m～　2.0m
	ISO 400	0.8m～　4.0m

6．フォーカスロック撮影

＊被写体を画面中央からはずしても
シャープに写せます。

ピントを合わせたい被写体にオートフォーカスフレームを合わせ、シャッターボタンを半押しすると緑ランプが点灯してピント位置が固定されます。

＊ フォーカスロックと同時に自動露出も固定されます。

シャッターボタンを半押しのまま希望の構図に決め直し、シャッターボタンをさらに深く静かに押し込みシャッターをきってください。

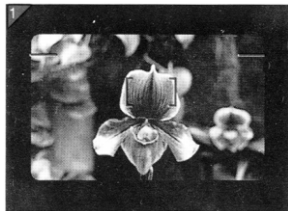
＊ 構図を決め直すときに撮影距離を変えないでください。

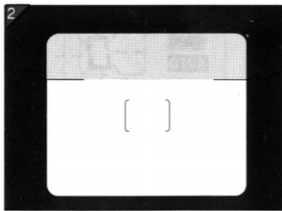
＊ 半押しした指をシャッターボタンから離すとフォーカスロックは解除され、やり直しができます。

オートフォーカスが正しく
働きにくい被写体

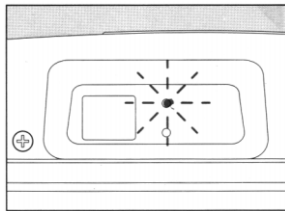
① 反射しにくい黒いもの
② 小さいもの、細かいもの
③ 発光体
④ 光沢のあるもの
⑤ 雨、霧、煙等の実体のないものは測距しにくいので、等距離の測距しやすいものに向けてフォーカスロックをしてください。ガラス越しの撮影も測距しにくいので、遠景では遠景モードで撮影してください。

７．近距離撮影

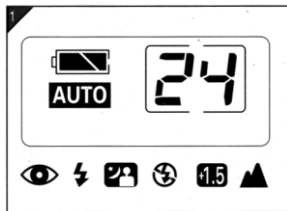
＊0.8mまで近づいて近距離撮影ができます。

0.8m～１mに近づいてピントを合わせたいものに、オートフォーカスフレームを合わせます。

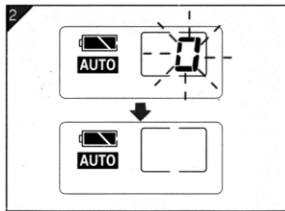
＊ レンズを望遠110mmにセットすると､被写体がより大きく写ります。

ファインダー内の近距離補正マークより下側で構図を決め、シャッターボタンを押してください。

＊ 構図上、被写体がオートフォーカスフレームからはずれる場合は、フォーカスロック撮影をしてください。

＊ 三脚を使い、セルフタイマー撮影をすると、カメラぶれを防げます。

シャッターボタンを半押しして緑ランプが点滅したときは…

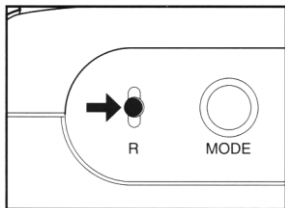
＊ 0.8mより近すぎてピントが合わない警告で、シャッターがきれません。シャッターボタンから指を離し、被写体から少し離れて、シャッターボタンを押し直してください。

8．フィルムの取り出し方

フィルムが最後になると自動的に巻き戻しが始まります。

＊ フィルムカウンターは、巻き戻しに連動して減算します。

巻き戻しが完了すると自動的に停止します。フィルムカウンターの 0 が約５秒間点滅した後、消灯しますので、0が消灯したことを確認した上で裏ぶたを開けてフィルムを取り出してください。

＊ フィルムの規定枚数より多く撮影した場合には、最後の画面が少し重なることがあります。

＊ 写し終わったフィルムは、お早めにDP店にお持ちになり、「コニカカラー百年プリント」とご指定ください。

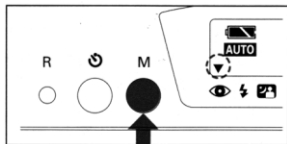
途中巻き戻しの方法

途中巻き戻し(R)スイッチをストラップ調節具の突起部で押すと撮影途中のフィルムの巻き戻しができます。

＊ 巻き戻し後の手順は、自動巻き戻しの場合と同じです。

応用撮影

撮影モードの切替えによる、赤目軽減撮影、日中フラッシュ撮影、ポートレート夜景撮影、フラッシュなし撮影、+1.5露出補正撮影、遠景撮影、セルフタイマー撮影などの応用撮影について説明します。

9．モード切替えスイッチの操作

＊被写体に応じて最適な露出方法を選択できます。

モード切替えスイッチを押すごとに、撮影表示マーク(▼)が撮影表示パネル上の各撮影モードのマークを順次表示して循環します。

＊ 一度設定した撮影モードは固定され、そのまま撮影が続けられます。

＊ 撮影が終わったら AUTO に戻しておいてください。

＊ 電源OFFにして再度電源ONにすると AUTO に復帰します。

AUTO 自動フラッシュ撮影
(フラッシュAUTOモード)

↓

赤目軽減撮影(ランプ点灯)
(フラッシュAUTOモード)

↓

日中フラッシュ撮影
(フラッシュONモード)

↓

ポートレート夜景撮影
(フラッシュONモード)

↓

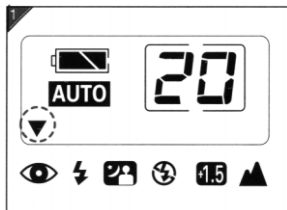
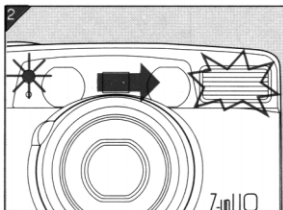
フラッシュなしの撮影
(フラッシュOFFモード)

↓

+1.5 +1.5露出補正撮影
(フラッシュOFFモード)

↓

遠景撮影
(フラッシュOFFモード)

10. 赤目軽減撮影 フラッシュAUTOモード

モード切替えスイッチを押して撮影表示マーク(▼)を に合わせます。

シャッターをきると、撮影直前に赤目軽減ランプが点灯した後、フラッシュが発光して撮影が終わります。

＊ 赤目軽減ランプが点灯してからフラッシュ発光までは約0.5秒かかります。カメラを動かしたり、撮影される人物が動かないようにご注意ください。

＊ 明るい所ではフラッシュは発光しません。

＊ フラッシュ発光のときのシャッター速度は、広角側で最長1/30秒まで、望遠側で最長1/60秒までとなるのでカメラぶれにご注意ください。

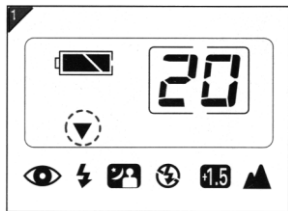
赤目現象とは…

暗い場所で人物のフラッシュ撮影をしたときに、フラッシュ光が目の網膜に反射して、目が赤く輝いて写ることがあります。これを赤目現象といいます。

効果的な被写体

暗い場所での人物のフラッシュ撮影。

(赤目軽減ランプで瞳孔を小さくした上でフラッシュが発光するので赤目現象が軽減します。)

11. 日中フラッシュ撮影　ϟ フラッシュONモード

モード切替えスイッチを押して撮影表示マーク(▼)を ϟ に合わせます。

日中フラッシュ撮影

被写体に向けてシャッターをきれば、明るいところでもフラッシュが発光します。

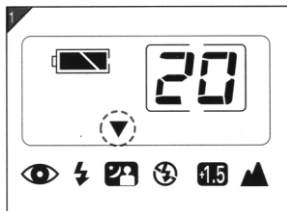
＊ シャッターボタン半押しで、緑ランプと赤ランプが同時に点灯します。

＊ このときのシャッター速度は、広角側で最長1/30秒まで、望遠側で最長1/60秒までとなるのでカメラぶれにご注意ください。

フラッシュなし

効果的な被写体

① 逆光の人物
② 室内の窓際の人物
③ 曇り日の人物
④ 日陰の人物

12. ポートレート夜景撮影 フラッシュONモード

モード切替えスイッチを押して撮影表示マーク(▼)を に合わせます。

ポートレート夜景撮影

暗い場所で被写体に向けてシャッターをきれば、最長約１秒までのスローシャッターによるフラッシュ撮影ができます。

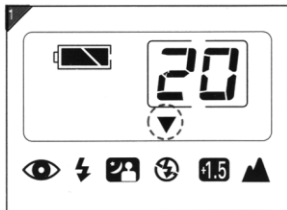
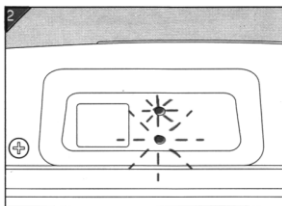
＊ カメラぶれを防ぐために、三脚をご使用ください。

＊ 被写体が動いているときは、ぶれて写ります。

自動フラッシュ撮影

効果的な被写体

① 夜景の人物
② 夕景の人物
③ バックにフラッシュ光が届かない室内の人物

13. フラッシュなしの撮影 フラッシュOFFモード

モード切替えスイッチを押して撮影表示マーク(▼)を ⦸ に合わせます。

被写体に向けてシャッターをきれば、最長約１秒までのスローシャッターによる自動露出撮影ができます。

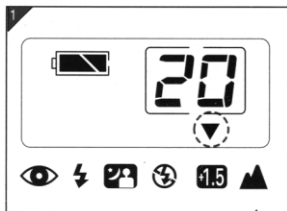
＊ 暗い場所では、カメラぶれを防ぐために三脚をご使用ください。

＊ 赤ランプが点滅したら、光量不足で写真が暗くなる警告です。

超スローシャッターによる撮影

効果的な被写体

① フラッシュが禁止されている美術館での撮影
② 都会の夜景
③ 日没時の風景

14. +1.5露出補正撮影 +1.5 フラッシュOFFモード

モード切替えスイッチを押して撮影表示マーク(▼)を +1.5 に合わせます。

+1.5露出補正撮影

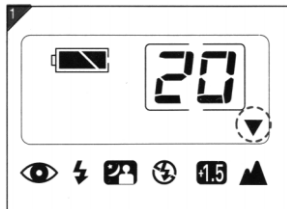
露出補正なしの撮影

被写体に向けてシャッターをきれば、標準より約1.5絞り明るい自動露出撮影ができます。

＊ 暗い場所では、カメラぶれを防ぐために三脚をご使用ください。

効果的な被写体

① 画面全体を明るく仕上げたいとき
② スキー場の人物
③ 逆光の人物
④ 白バックの人物
⑤ 明暗コントラストが強い建物の暗部を明るく写したいとき

15. 遠景撮影

モード切替えスイッチを押して撮影表示マーク(▼)を ▲ に合わせます。

ガラス越しの風景を遠景撮影

オートフォーカスフレーム内の被写体に関係なく、遠景にピントのあった撮影ができます。

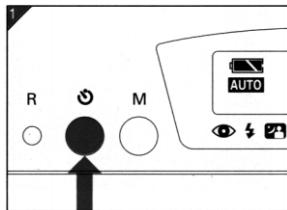
＊ 夕・夜景など暗いときの撮影はシャッター速度が遅くなりますのでカメラぶれを防ぐために三脚をご使用ください。

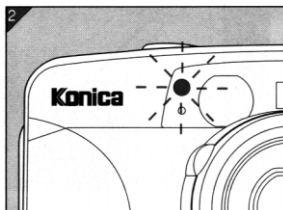
一般撮影

効果的な被写体

① 遠景撮影
② ガラス越しの風景

16. セルフタイマー撮影

＊記念撮影だけでなく近距離撮影や
遠景撮影にも活用できます。

セルフタイマースイッチを押し、指を離すとセルフタイマーがスタートします。

＊ セルフタイマーがスタートしたときに、ピントと露出がロックされます。

セルフタイマーのスタートから約10秒後にシャッターがきれます。

＊ セルフタイマーのスタートと同時に、セルフタイマーランプが点滅し、撮影の約３秒前から点灯に切替わります。

＊ 三脚をご使用ください。

＊ セルフタイマースイッチはカメラの後側に立って、後側から押してください。前側からでは正しいピント、露出が得られません。

＊ 作動中にキャンセルしたいときは再度セルフタイマースイッチを押すか、パワースイッチを押して電源OFFにしてください。

おもな仕様

＊下記製品については当社試験条件によります。
＊製品の仕様、外観については予告なく変更することがあります。

項目	内容
形式	：レンズシャッター式ズームレンズ付ＡＦ全自動35 mmカメラ
画面サイズ	：24×36mm
レンズ	：コニカズームレンズ38mm F3.5 〜110mm F9.8（５群６枚）レンズカバー付
パワースイッチ	：電源ＯＮでレンズカバーが開き鏡胴が繰り出す、電源OFFでレンズ収納されレンズカバーが閉じる、電源ONのまま約３分間操作しないと自動的にパワーOFF,電池残量を液晶パネルに表示
シャッター	：絞り兼用プログラムシャッター、電磁レリーズ、約1秒〜約1/350秒
焦点調節	：赤外線ノンスキャンアクティブ式自動焦点、撮影範囲：0.8〜∞、撮影範囲外レリーズロック（緑ランプ点滅）、フォーカスロック可能、遠景撮影可能
露出調整	：CdS受光素子使用のプログラムAE、中央重点測光
露出連動範囲	：ISO 100 EV4〜EV16
フィルム感度	：自動設定（ISO 25〜ISO3200）
ファインダー	：実像式ズームファインダー、オートフォーカスフレーム、近距離補正マーク、ファインダーわきに緑ランプ（点灯；AFロック、点滅；近距離撮影連動外警告）、赤ランプ（点灯；フラッシュ発光表示、フラッシュ充電中表示、点滅；フラッシュOFFモード時の低輝度連動外警告）
フラッシュ	：手ぶれ限界の低輝度時に自動発光するフラッシュマチック機構、連動範囲・（ISO100）ｆ＝38mm 0.8m〜5.3m，ｆ＝110mm 0.8m〜2.0m、発光間隔・約７秒

モード切替え	：自動フラッシュ撮影、赤目軽減撮影、日中フラッシュ撮影、ポートレート夜景撮影、フラッシュなしの撮影、＋1.5露出補正撮影、遠景撮影の各モードを選択可能（液晶表示パネルに表示） 各モードでセルフタイマー撮影可能
セルフタイマー	：電子式、作動時間・約10秒、セルフタイマーランプが約７秒点滅した後に約３秒点灯、途中解除可能
フィルム給送	：電動式、裏ぶたを閉じるとスタートするオートローディング、自動巻き上げ、フィルム終了でオートリターン、巻き戻し後自動停止、途中巻き戻し可能
フィルムカウンター	：順算式、液晶パネルに表示
オートデート	：液晶表示式デジタルウオッチ内蔵、2019年までの年月日、日時分、月日年、日月年を表示、秒単位まで修正可能、写し込みなしも選択可能
使用温度範囲	：−10℃〜50℃
電池寿命	：50％フラッシュ発光のとき約10本（24枚撮りフィルム）
電源	：リチウム電池（CR123AまたはDL123A・3V）１本
大きさ	：120×68.5×53mm
質量（重さ）	：240ｇ（電池別）